マブラヴ　オルタネイティブ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| キャラクター | シナリオ | イラスト | 音楽 | 演出 | 総合点 |
| 7点 | 10点 | 4点 | 9点 | 10点 | 40点 |

**キャラクター**

キャラクターはそれぞれの信念を持っていて、その信念のもとに行動するのでどのキャラクターもカッコいい。ヒロインもその例外に漏れずカッコよくて魅力的なのだけど少々古臭さがある。ヒロインの属性を列挙すると暴力系幼馴染、箱入りお嬢様、委員長、無口クール、マスコットとなって並びに時代を感じる。それでも、各々のキャラクターに強い魅力があるのは間違いなく、特に榊と彩峰の関係はスラムダンクっぽさがあって好きです！！

**シナリオ**

無印のマブラヴ込みなら満点、含めないなら6点。無印があってのオルタなので絶対に無印はやるべき。無印があるからこそ感動できる。ロボット、SF、愛、熱血、泣き、鬱などのあらゆる要素を詰め込んだようなシナリオ。無印含めて80時間ほどのボリュームにも圧巻。

**イラスト**

15年以上前の作品なのでそればかりはどうしようもないが、どうしてもイラストには古臭さがある。そろそろリメイク版が出てもいいと思う。

**音楽**

JAM PROJECTの《未来への咆哮》は知らない人がいないレベルの名曲！　他にも《0-GRAVITY》や《Carry on》もカッコいいと定評がある。BGMについても《ブリーフィング》や《旅立つ君に》は個人的にお気に入り。

**演出**

戦闘シーンの演出がすごい。15年以上前のゲームとは思えないほど立ち絵がぬるぬると動き回るし、アニメーションが挿入されるなどと満足。それにエンディングにはその曲を流すか、という感動は今でも忘れられない。演出は全体的に見てもトップクラスのクオリティを誇っていると思う。

**総評**

2000年代のゲームということもあり、随所に古臭い部分はどうしてもあるが、それを差し引いてもやはり名作として語り継がれているだけのことはある作品。ストーリー、音楽、演出は現代でも通用するレベルの一級品だろう。

（文責：KAI）